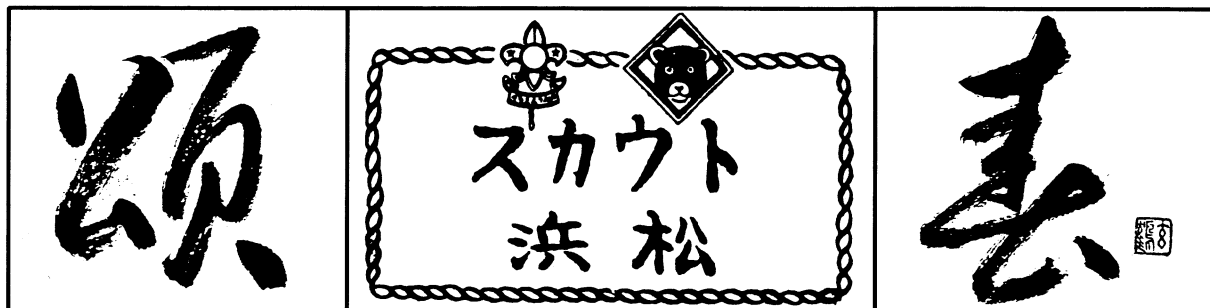




ひのえとら年．前進を!!

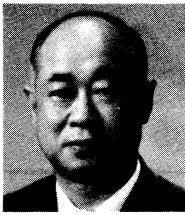
浜松地区南小地区委員長 鈴木宗太郎
浜松第10団団委員長

迎寿、新春を迎えスカウト関係の皆様おめでとうございます。家の門ごとに国旗が立ち並び、「白地に赤く日の丸そめてああ美しい日本の旗は」と歌った幼い子供の頃が懐しく想い出されてきます。庭の古梅の蕾もふくらみ始め、春遠からじの感があります。梅は雪にあって、さんざん苦しんだものでないと花のもちも悪く香りもよくないといわれています。「梅経寒苦発清香」寒苦を経ない梅花はろくな花ではありません。苦しみを耐えて、はじめて魂は光を発します。本年は干支（えと）ひのえとらの寅年です。動物の王者、古画に観る竹林の「猛虎、の眼光のするどさを感じ、希望をもってスカウトの道を勇敢に前進して下さい。本年は第9回日本ジャンボリーが南蔵王の山麓で行なわれます。浜松地区参加の選抜スカウトは、今から身体を鍛え、隊長の訓育のもと日頃の成果を充分発揮し、他県のスカウトと友情を

深め、大いに頑張っ^たてほしいものです。「恩」という概念は日本にあって外国にはないもので「恩」とは忘れないことです。本年からスカウトは、ビーバー→カブ→ボーイ→シニア→ローバーと続きますが…基礎になるのは、カブ・ボーイ時代です。このとき隊長や多くの先輩のお世話になりながら成長していくものです。私はその意味でも「恩」を忘れない人間を望みます。今後スカウト組織の拡大は大変なことと考えます。昔、私ども地元の地引網の漁師が寒中、丸裸で海に入り、引網作業中の若い衆に「禪を締めよ」と言った大声の言葉が、私の子供心から耳に残っています。私達地区役員も「禪を締め直して」地区の発展のために、奉仕の精神で前進し、よりよき日本の姿を見出ししていきたいと念じ、身体が続く限り、健康である限り、努力していく所存であります。

昭和61年の新春にあたり

浜松16団育成会長
浜松地区副協議会長 市川 重雄
日連中央審議会議員



スカウト運動に入って20年、昨年浜松16団の20周年記念式典を終えることが出来、一つの区切りとなった。愈々本年から21年目、寅年の如く雄々しく頑張ってゆきたい。又本年は16団の団委員長石津宏君共々寅年の年男として更に心を新たに努力してゆきたい。昨年11月16日、「総理を囲む社会教育、スポーツ関係者の集い」が内閣総理大臣官邸で行われ、私も静岡県子ども会連合会会長として御招待をいただいた。その際BSやGSの制服の諸君ともお逢いしたが、やはり制服というものはよいものだ。「制服を脱いでもスカウトだ」とかつてBS日本連盟中央審議会議長として「スカウティング」に寄稿したことがあったが、矢張り制服を着ているときとそうでないときとが仲々一致し得ないところに未だ魅せないことを痛感する。その際、中曽根総理から「ボランティア活動やスポーツ関係者の皆様によって素晴らしい明日の日本を築いて下さい」と激励された。

今「教育改革」が強く求められているときスカウト運動に期待されることは極めて大きい。然しスカウト運動も今大きな転換期にある。スカウト人口の減少だ。然もそれに対しスカウト運動の信条とも言うべき「ちかい」と「おきて」が現在の子供等に難解だからといって改正が考えられている。私は「ちかい」と「おきて」は極めてすばらしい思想と理念がこめられており、みだりに字句の更正によってその精神が失われては大変と、先般の中央審議会に於いてこれの改正案に反対を唱えておいた。もっとリーダーがしっかり勉強しそれを隊員に教えてゆかねばならない。太平洋戦争後の日本がもっと国語と歴史と地理を大切にした教育をしておればもっと日本人らしい日本人が出来たであろうし、又立派な日本人なら立派な国際人ともなれるのである。昨年の国際青年年に続いて今一度スカウト運動の原点に還り、地道なスカウトの道への精進によってその使命を果たしてゆこう。

栄えある受彰に弥栄を



「スカウト浜松」第101号の15ページに御紹介いたしました、

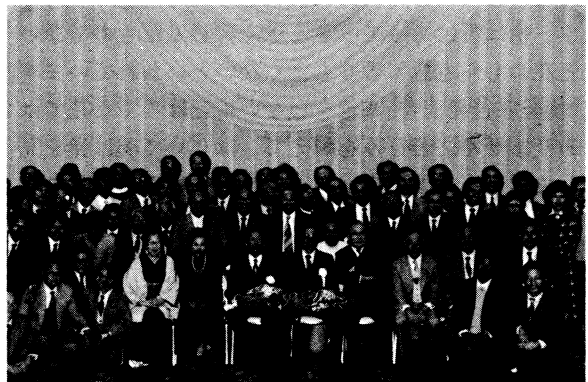
10/28 文部大臣表彰 内田 嘉一様

(副協議会長・浜松1団) 社会教育功労者として

10/17 法務大臣表彰 三輪 悦爾様

(O.S.E・浜松12団) 保護司としての功労

を賛えて、記念パーティーが去る60. 11. 14(木)PM6:30より「ホテル コンコルド」において盛大に開催されました。お二人の「弥栄」を心より祈念いたしました。



学校別ビーバースカウト在籍一覧表

No.	校名	1年	2年	No.	校名	1年	2年	No.	校名	1年	2年
1	有玉小	1	2	8	高砂小	1	0	15	芳川小	1	1
2	伊佐見小	0	4	9	富塚西小	0	1	16	与進小	1	0
3	大瀬町	0	2	10	中郡小	3	0	17	与進北小	0	1
4	上島小	2	1	11	西小	1	0	18	竜禅寺小	1	1
5	神久呂小	0	4	12	曳馬小	3	2	19	和地小	0	2
6	佐藤小	0	1	13	広沢小	1	0	20	金指小	6	4
7	積志小	1	1	14	船越小	2	0	21	井伊谷小	3	0

学校別スカウト在籍一覧表

No.	学校	3年	4年	5年	6年	No.	学校	3年	4年	5年	6年
1	相生小	1	2	2	2	37	東小	0	0	1	0
2	葵ヶ丘小	0	0	4	2	38	曳馬小	1	5	4	3
3	葵西小	0	0	1	1	39	広沢小	3	7	9	3
4	県居小	14	19	4	20	40	船越小	0	0	0	1
5	有玉小	2	3	3	2	41	芳川小	0	3	0	0
6	飯田小	0	2	1	0	42	芳川北小	1	0	0	0
7	伊佐見小	5	6	3	4	43	三方原小	2	1	0	2
8	泉小	0	0	1	2	44	端穂小	0	1	1	2
9	遠州浜小	1	1	2	0	45	南小	0	2	0	1
10	追分小	0	0	2	0	46	元城小	1	2	2	6
11	大瀬小	0	1	0	0	47	吉野小	0	0	1	0
12	神久呂小	3	5	2	2	48	与進北	1	2	5	1
13	蒲小	1	0	0	0	49	与進北小	1	0	1	0
14	上島小	2	1	5	2	50	竜禅寺小	2	2	2	3
15	鴨江小	0	1	0	8	51	和田小	1	0	0	0
16	河輪小	0	0	0	1	52	和田東小	0	1	1	3
17	五島小	0	1	0	1	53	和地小	0	3	5	3
18	佐鳴台小	1	4	4	1	54	静大附属小	3	1	4	2
19	篠原小	9	12	11	10	55	伊目小	0	1	3	1
20	城北小	1	0	1	1	56	気賀小	4	6	3	5
21	白脇小	0	0	2	2	57	中川小	3	3	0	4
22	新津小	4	1	5	3	58	西気賀小	2	2	4	3
23	砂丘小	3	2	7	1	59	井伊谷小	0	1	1	0
24	西都台小	4	8	6	9	60	金指小	0	4	2	4
25	積志小	3	3	1	5	61	可美小	2	5	7	7
26	浅間小	8	11	15	10	62	岡崎小	0	1	0	0
27	高砂小	1	0	0	0	63	鷺津小	1	1	3	0
28	富塚小	1	0	1	0	64	二俣小	1	0	1	0
29	富塚西小	1	1	2	1	65	赤佐小	1	0	0	0
30	豊岡小	0	2	0	0	66	北浜南小	0	0	1	0
31	豊西小	1	2	3	0	67	新原小	1	0	0	1
32	中郡小	1	0	3	0	68	中瀬小	1	0	1	0
33	中の町小	0	0	1	0	69	浜北小	0	0	0	0
34	西小	1	1	3	2	70	浜名小	1	0	0	1
35	萩丘小	1	1	4	2	71	竜洋小	0	1	0	0
36	初生小	5	3	4	2	72	青城小	0	0	2	0

学校別スカウト在籍一覧表

No.	学校	1年	2年	3年	No.	学校	1年	2年	3年
1	入野中	9	10	6	1	浜松湖東高校	7	11	3
2	開成中	6	0	2	2	浜松湖南高校	4	2	4
3	神久呂中	5	4	3	3	浜松北高校	6	6	7
4	笠井中	2	1	0	4	浜松商業高校	2	1	2
5	江西中	10	11	10	5	引佐高校	2	0	3
6	江南中	1	0	1	6	磐田農業高校	0	1	1
7	湖東中	6	9	0	7	興誠高校	2	5	4
8	丸塚中	5	5	4	8	浜名高校	4	2	0
9	篠原中	14	9	4	9	オイスカ高校	2	0	1
10	庄内中	0	1	1	10	浜松南高校	8	3	3
11	新津中	11	12	4	11	浜松工業高校	6	3	3
12	西部中	1	6	3	12	日体高校	1	1	0
13	積志中	4	3	1	13	浜松西高校	5	3	1
14	高台中	2	3	0	14	浜松城北工業高校	4	5	0
15	中部中	11	3	3	15	経理学校	1	0	0
16	天竜中	1	2	2	16	江の島高校	4	1	0
17	東部中	2	1	2	17	気賀高校	2	4	2
18	東陽中	1	2	0	18	農経高校	2	0	0
19	中郡中	2	1	1	19	三ヶ日高校	0	0	2
20	南部中	5	2	3	20	聖隷学園高校	1	0	0
21	南陽中	3	1	3	21	島田学園高校	1	0	0
22	八幡中	1	0	0	22	日生学園高校	1	1	0
23	曳馬中	5	11	4	23	浜北西高校	0	0	1
24	北星中	2	1	5	24	国際海洋高校	1	0	0
25	北部中	3	4	2	25	浜松北高校定時制	0	1	0
26	丸塚中	0	1	0	26	春野高校	0	1	0
27	三方原中	3	3	0	27	経理専修学校	1	0	0
28	与進中	8	7	3	28	愛知学芸大附属高	1	0	0
29	静大附属中	0	1	4	不明		1	2	1
30	引佐南部中	3	4	2	ビーバー在籍追加分				
31	細江中	10	9	7	No.	校名	1年	2年	
32	可美中	4	3	2	22	遠州浜小	0	1	
33	鷺津中	1	0	0	23	北小	4	0	
34	二俣中	0	2	0	24	篠原小	0	1	
35	浜名中	0	2	1	25	砂丘小	0	1	
36	豊岡中	0	1	0	26	元城町	3	2	
37	豊田中	0	1	0					
38	日生学園中	1	1	0					

小学校1年2年3年4年5年6年合計

34 32 106 148 162 152 634

中学校1年2年3年合計 高校1年2年3年合計

142 137 83 362 68 52 38 38 158

※ 本資料は、昭和61年1月18日現在までに、「スカウト浜松」事務局へ到着分によるものである。遅ればせながら、資料を提出して下さい。お礼申し上げます。

さあ！今年は 第9回日本ジャンボリーの年

テーマ「自然と創造」

—空のように広く、蔵王のようにたくましく—



自然は、万物の慈母であり、厳父でもある。時にはやさしく、時には厳しく我々を育んでくれる。

そして感謝の念を抱かせる。

あらゆる可能性を含む自然での野外活動は、ボーイスカウト運動の基本である。スカウト一人ひとりが創造性を持ち、自然と融和し、明るい希望に満ちた明日へ胸を張り、手を振って、スカウティングの理想に向かって前進しよう！

会場 宮城県白石市福岡深谷字白萩

南蔵王山麓

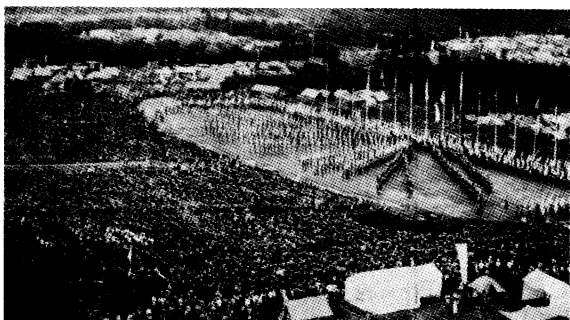
国鉄白石駅から西北約11km

東北の名峰蔵王山の南山麓の草原地帯

4年に一回開かれる日本ジャンボリーはスカウトの祭典です。今年も8月2日から8月6日迄、全国及び諸外国から約3万人のスカウトが集まり、南蔵王で開催されます。和和57年第8回ジャンボリーと昭和59年に開かれた、第一回シニアスカウト大会もこの南蔵王で開かれています。

ジャンボリーは、スカウトが日頃鍛えた技術とスカウト活動を余すことなく発揮し、野外活動を通じ国際親善と友情、そして相互理解を深め、スカウト運動を更に躍進させるところです。

キャンプは第8回と同じサブキャンプで浜松地区は第7サブキャンプに入り静岡第31隊から第35隊まで、5隊編成となります、ただし第35隊は、浜松、浜北、浜名、北遠の混成隊です。浜松地区からの参加人員はスカウト、リーダーそれにGHQ、SHQ奉仕隊リーダーも含め約190名の参加がみこまれています。



ジャンボリー大集会に集まったスカウトたち

西部地区組織拡大会議

会議は、浜北地区組織・拡張委員長の山下総太郎氏の司会により、午後1:00開始された。会議の次第は、下記の通りである。

1. 開会のことば 県連組織拡大 石津 宏
副委員長
2. 国旗儀礼 浜北地区コミ 外山 吉保
3. ちかい・おきて " 外山 吉保
4. あいさつ 県連組織拡張委員長 杉山 友男
5. 来賓あいさつ 浜北市教育長 池谷 豊様
6. 講演「組織・拡張に必要な心」
県連副理事長 内田 時世
7. グループ討議並びに報告
8. 講評 県連副コミッショナー 山城 厚生

講演「組織拡張に必要な心」より

- ・スカウティングの心は「ちかい」と「おきて」の中に凝縮されている。
- ・信仰心からスカウティングが出発する。
- ・日本の不安は、教育と防衛にある。
- ・戦後教育のあやまち→教育基本法へメスを。
- ・「什」のおきてについて。
- ・『実践躬行・精究教理・道心堅固』

※ 失礼を承知でまとめてみたものである。



グループ討議の内容と結果報告より

(討議内容)

- I. なぜ組織を拡大しなければならないか。
- II. 拡大をはばむもの。
- III. 我々は何をなすべきか。

講演もさることながら、グループ討議も参加者にとって非常に有意義なものであった。全員が真剣に話し合い、グループ毎に報告もなされた。

以上、簡略ながら当日の様子を…… 文責 黒柳



浜松・連尺町2 TEL 54-4301

* 浜松第1団 * ぼくらのスカウティング *

浜松市天文台へ行って

カブ隊時 久 博 好 (砂丘小)

ぼくは、11月末ごろ浜松市天文台へ行ってきました。あいにくの雨で太陽を観測することができず、残念でしたが、天文台の人の説明を聞き、たいへん勉強になりました。太陽や月や星の説明のあと、今話題のハレー水星についても、話してくれとてもきょうみ深く聞くことが出来ました。いままであまり天体については、よく知りませんでした。この説明を聞いてちょっときょうみがわいてきました。

ぼく達の住んでいる地球は、ぼく達にとっては、とても広い世界だと思いますがうちゅうから見れば、ほんの一部でしかなく、うちゅうがとてつもなく広い世界だと言うことを、あらためてかんじました。そして、いままで夜空をなにげなく見ていましたが、星の名前などを覚えてながめたら、きっと楽しいだろうなと思いました。

まだまだ、天体については、むずかしいことがいっぱいありますが、これからはもっと星などを調べ、一つでも多くの星を知りたいと思いました。

浜松市天文台へ行って

カブ隊石 原 玄 (県居小)

11月4日浜松の天文台へ観測やお話を聞きに行きました。雨がふると観測が出来ないので、あしたは、晴れてほしいなとねがっていましたがざんねんなことに朝から雨がふってしまいました。

ぼくが天文台へ行くのは初めてなのでとてもざんねんでした。でも太陽・月・すい星(ハレーすい星)などの話をしていただいたのでとてもよかったです。

太陽のことでは、太陽には黒点があるということ、そして太陽から光が地球へ来るのに8分20秒はかかるということ、そのほか黒点のかく大写真も見せていただきました。

月・すい星のことでは、月のでこぼこした写真などおぼえきれないほどの写真を見せていただきました。星のことでは、写真やせいぎなどのこと、すい星のことでは、すい星を見つけると自分の名がつくなどを説明していただいた。あとハレーすい星の見つけ方などを教えていただいたのでぜひ見つけたいです。

今度来るときは、太陽や月などを観測したいです。また来たいと思っています。



班長として

ボーイ隊福 島 浩 記 (豊田南中)

僕は、現在班長をやっている。僕は今まで班長としてどんなことを、してきただろうか。班長とい名を利用して、いばってきただけではないだろうか。自分で今までを、しっかりふりかえてみると、いばるということは、班長としてよくないことだと思う。よくないこととわかっていながら、僕はやった。それに僕は、いばったことに対して、反省していない。反省の気持ちがわいてこない。なぜだろう。

ここで班長というものに対してもう一度考えなおしてみると、班長とは、班をまとめていく人で、他の班員よりも、いろいろなことがすぐれている人だと思う。僕は他の班員よりもいろいろなことがすぐれていると思うけど、はたして、今まで班をしっかりまとめてきただろうか。さっき言ったようにいばっていは、班はまとまらないと思う。僕がまだ班員だったときを、思い出してみると、たしかに班長は、いばったことがあった。けれども班はまとまっていたと思う。なぜだか考えてみると班長はいばっても班員はしっかり班長の命令をきいた。班員はそれが常識だと思っているからである。

本当に、それは常識であっていいのだろうか。班員がそう思っていれば班はまとまると思う。僕もそう思っていたからこそ反省の気持ちがなかったと思う。僕は班長として、少しはいばっても悪くはないと思う。ただ、そればかりでなく、本来班長がしなければならないことを、しっかりやればいいのか。僕は、そんなにいばってはないが、班長がしなければならないことを怠ったことがあったと思う。もう僕が班長である期間が少なくなってきたが、その残り少ない期間を班長としてしっかりやっていきたいと思う。

* 浜松第10団 * ぼくらのスカウティング

夏の思い出

カブ隊 品川 英孝 (篠原小5年)

楽しかったことは、夏のキャンプです。川の水は冷たくてとても夏とは思いませんでした。ごはんもおいしく夜のキャンプファイヤーもたのしかったです。1組から5組までいろんな出し物をやります。キャンプファイヤーの火がひとりにつくのがぼくはふしぎでふしぎでたまりませんでしたが、わかりました。しっかり見てきました。

まだまだたくさんありますがもうすぐボーイです。ぼくも早くあのつなをとんで見たいです。

県大会で団旗を持った

カブ隊 鈴木 慎太郎 (篠原小5年)

ぼくは、県大会の時当番組だったので、すこしたって隊長が「慎太郎行って来い」と言ったので、ぼくはデングットと門の所へ行きました。その日は、あいにく雨だったので持っている手がとてもつめたくなりました。けれどがまんしました。そしてやっと入場と言ったので歩いて行きます。そして自分の団を見ようとしたら隊長が見えました。終わってとてもうれしいと思いました。なぜなら、こういうことは、やりたくてもなかなかできないものだからさちょうな体験ができとてもよかったと思う。

ユニセフ子供募金

カブ隊 榊 原 要 太 (篠原小5年)

毎年くれになると募金活動が始まります。カブスカウトもユニセフ子供募金が行われました。ぼくたちは、松びしデパート前と西武デパート前で二時間にわたり募金のよびかけをしました。建物のかげで日が当たらず、この日は、風も少し強くて寒かったです。でも寒さにまけないように大きな声でよびかけしました。おばあさん、お父さんお母さんそして中学生のお兄さんお姉さん、ぼくらと同じくらいの子など、たくさんの方が募金に協力してくれました。とてもうれしかったです。少しでも多くの人に協力してもらい、少しでも多くの金額をこまっている人たちに送ってやろうと、みんなで声をからしてがんばりました。寒いのはつらかったですが、ぼくたちにもこれでこまっている人たちの手助けができたのだと思うと、とてもいい気持ちでした。ぼくは、募金のよびかけをしている人を見かけると、必ず募金に協力するようにしています。



ボーイスカウトに入って

ボーイ隊 高橋 一也 (篠原中1年)

僕は、ボーイスカウトに入って、よかったなーと思う時と、いやだなーと思う時があります。僕は今中一です。なので部活もいそがしくて勉強もまあまあいそがしいです。いやなのは、部活がなくていいなと思っているとき、ほとんどと言っていいほどボーイやカブ(デンチーフ)でつぶれて日曜日にも休んでいられません。なのでいやです。だけどボーイのキャンプやカブのしゃえいの時は、やっぱ、入っていてよかったなーと思わされます。

いやと思ってもいいのに大切な用事でボーイを休むと何かムズムズしてきます。

ボーイに入って、やっぱりいいなーと思わされるのは、自分たちでつくる食事です。食事はいつもお母さんが作っているけどボーイにいけば自分たちの手で自分たちの食事をつくって食べれるからです。

それと一つ不思議に思うことがあります。それはカブまでやってきてボーイに上進しないなんてと。僕はこう思います。カブで学んできたことを発揮するのがこのボーイではないのでしょうか。ただたんに食器洗いがいやだとか言って上進しないって言う人が各団一人ぐらいいるんじゃないかと思います。そういう人はちょっとなさけないと思います。がまんすればそんなことは出来るんじゃないのでしょうか。僕はただそういうことが不思議でしょうがないです。



* 浜松第14団 * ぼくらのスカウティング



CBS(カトリック ボーイ・スカウト)
全国大会に参加して
ボーイ隊 阿部晃三(船越小6年)

8月2日から6日まで、長野県佐久市の内山牧場に、1,300人のスカウトが集って、CBS全国大会が開かれました。

僕達の団からは、今年4月ボーイ隊に入隊した6年生5人と、シニア隊の先ばい2人と、リーダー3人とが参加しました。

野営生活なので、先ずテント張りから仕事が始まりました。山の中腹だったし、傾斜していたので地ならしや、側溝掘りは、木や草の根がじゃまになって、なかなかうまくいきませんでした。

かまども、いろいろな種類のものを作りましたが、とてもむずかしかったです。

食事作り、水くみは大へんな仕事でした。でも、ご飯やバーベキュー、スパゲッティなど自分達で作ったものがとてもおいしくできて安心しました。

雨が降った時、真っ黒い火山灰の土のどろの中でも働いたし、風であおられたテントなおしを、真っ暗い中でやったりしました。

隊長から、地図の見方や、シルバー・コンパスの使い方を学びながら、パトローリングで8kmハイクをしました。ハイキングでは、川の流れの速さを計ったりしてコスモス街道を歩きましたが、途中にあった温泉に特別サービスで入れてもらったり楽しいこともありました。

東京江東区のボーイ隊や、沖縄の那覇市のスカウト等友達が出来てうれしかったです。

その他、初級の僕には初めてのことが沢山ありました。例えば、毎朝の野外ミサや、毎日、朝、昼、夕には必ず小高い丘の一番高いところに作った鐘の塔からアンジェラスの鐘の音が聞こえてきます。そうすると続いて神父様や先ばいスカウトの「お告げの祈り」が、スピーカーから聞こえてきます。この時

は、みんな仕事を止めてスピーカーの声に合わせてお祈りをしました。

隊長が、ミレーと言う画家が画いた『晩鐘』と言う絵は、夕方、農夫がアンジェラスの鐘を聞いて、このお祈りをしている時の絵だ、と教えてくれた。

霧の中に祈る



また、霧の深い朝は、急に目の前にいた人が見えなくなるほどで、霧が目の前を流れていくのを見たのも初めてでした。

今年初めてボーイ隊に入った僕達仲間が、一生けん命力を合わせて頑張ったことは、これからも役に立つことだと思います。

帰って、「朝は、起こされなくても6時前に仕事を始めたよ」と、家の人達に話したら、みんなおどろいていました。これからも頑張りたいと思います。

そして、野営とは、他の人をたよったりせず、自分の力で、やるだけのことはやらなければ、一日が終わらないことを知りました。



(ビーバー隊) 初キャンプでの食事



(カブ隊) 竹飯準備

第5回ボーイスカウト写真コンテスト入選作品集

明けましておめでとうございます。

1986年が、皆さんにとりましても浜松地区にとりましても、良い年となりますよう祈念致します。

スカウト浜松 100号発行記念を兼ねた、第5回ボーイスカウト写真コンテストに対しまして、多くの方々から 140点に及ぶご応募をいただきました。御協力有り難うございました。

スカウト諸君からの作品をと時間をかけましたが、残念乍ら3点に留りました。スカウトがカメラを持つ機会が少なくなったためでしょうか。

然し、成人の部に力作があり、この部の入選を増しました。

素晴らしい作品を沢山ご応募下さった方もありましたが、一人一点の規定のため御了承下さい。

更に、次回に向けて良い作品を貯えておいていただき度くお願い申し上げます。

尚、コンテストに対して毎回審査をして下さる高倉清雄氏、前回に引き続き後援下さいました長瀬産業(株)コダック製品事業部殿及び堀内カメラ店殿に感謝し、厚く御礼申し上げます。

《 最 優 秀 賞 》



「ボーイになれるかな」 村上美代子(浜松第7団DM)

《 優 秀 賞 》



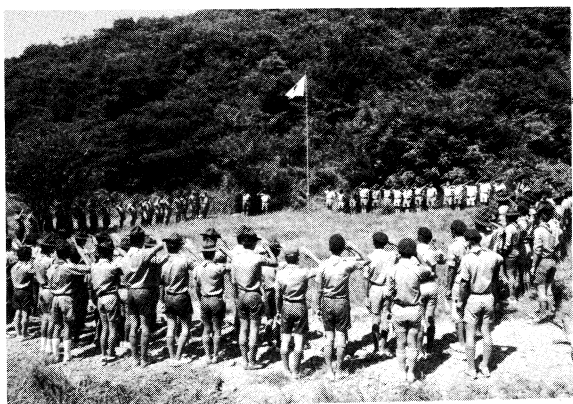
「モー・大丈夫」 渥美 俊策(浜松第19団副団委員長)



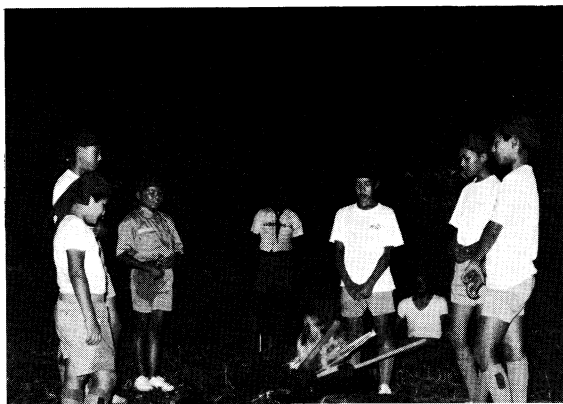
「募 金」 久米 喬枝(浜松第22団育成会員)

第5回ボーイスカウト写真コンテスト入選作品集

入 選



「国旗に敬礼」 名倉惣一郎(浜松第15団SS隊長)



「僕らのスカウティング」 岡田 仁男(浜松第6団団委員)



「ちび、ガンバレ！」 伊熊 有祐(浜松第18団SS隊長)



「ビーバー隊」 宮沢 広士(浜松第12団団委員長)



「セレモニーを控えて」 有川 允(浜松第22団団委員)



「組集会」 服部 隆彦(浜松第18団CS隊長)

第5回ボーイスカウト写真コンテスト入選作品集

入

選



「初日の出」 齊藤 節男(浜松第21団団委員)



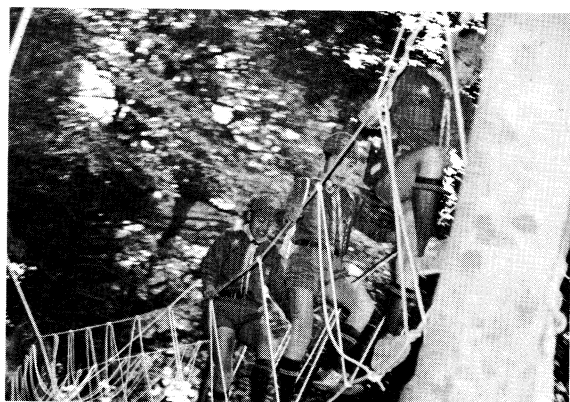
「同期の桜」 浦山 孝彦(浜松第14団SS副長)



「電車風景」 河原崎 敏(浜松第1団BS隊長)

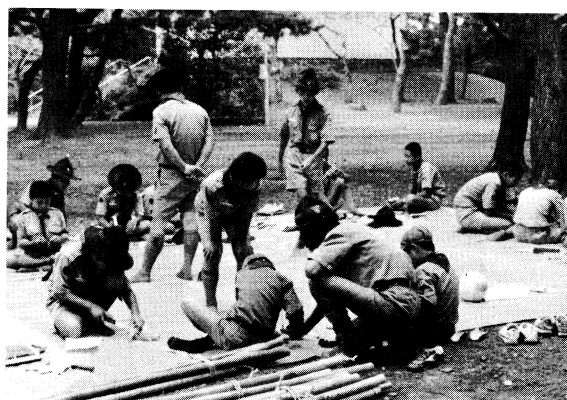


「初日の出に弥栄」 柳本 冬彦(浜松第10団育成会長)



ロープワーク(モンキーブリッジ)

稲垣 紘一(浜松第22団CS副長)



なたも、ナイフも、のこぎりも

中野 明德(浜松第6団団委員)

第5回ボーイスカウト写真コンテスト入選作品集

入

選



「歴史の散歩道・蜷塚にて」

中村 勝(可美第1団団委員)



「猫も仲間に楽しい集い」

大石 雅美(浜松第26団団委員)

「船上にて」 高林久仁夫(浜松第1団育成会員)



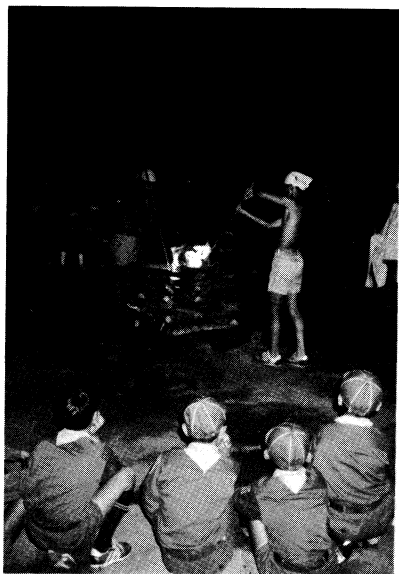
「隊旗入場」 黒柳 昭夫(浜松第16団団委員)



(組写真)

「団夜営の夜」

村松 宏(浜松第21団団委員)



* 浜松第16団 * ぼくらのスカウティング

「ほうこう寺へ来たこと

CS隊 外波山幸作 (白脇小5年)

ここへ来て一番楽しかったことは、ロープむすびです。ぼくは、ロープむすびが大好きです。

うさぎやしかの人たちが

「おしえて、おしえて。」

と、いったので、とくになつておしえてあげました。二番目に楽しかったことは、えいがです。えいがは、キャンドル・サービスの後でやりました。

この話は、すすめをそだてる二人の少年が出てきます。五ひきの赤ちゃんがいたけれど、二ひきは、えさをたべなくてすぐに、もう一ひきは学校のものおきでねこにおそわれて死んでしまいました。あと二ひきというのに、一ひきはまたもや学校のものおきで今度は、へびにころされました。

みんなは、

「感どうした。」

と、いっていました。ぼくも、感どうしました。

三番目に楽しかったのは、おく山高原での乗馬です。馬に乗ったのは二回目です。一回目は、富士山の近くですが、小さかったのでよくおぼえていません。お母さんに、

「乗れば。」

と、いったら

「乗らない。」

と、いいました。ぼくは、「あんまり乗れるものではないから乗ればいいのにな。」と思いました。

一番きつかったのは、「ぎぜん」でした。ぼくは、はじめてです。おしょうさんは、

「みんなはじめてだと思うから、みんなたたくからね。」

と、いいました。ぼくは、いたいだろうなあとと思いながらうけました。

「ビシッ。」

と、いう音がしました。「ぎぜん」は十分ぐらいしました。足がしびれて、いたくていたくてたまりませんでした。その次、おしょうさんの子どものころの話を聞きました。がんばったと思いました。

楽しかったこと

カブ隊 三室 幸一 (元城小4年)

ぼくは、おく山の方広寺に行きました。一泊二日のしゃえいです。ぼくは(どんなところかな、お寺は。本当にあるのかな。大きいかな)とか思ってい

ました。ついて(わあ、大きいなあ)と思いましたさすがにお寺

「ゴーン。ゴーン。」

と、かねが鳴っていました。

部屋は、はじめは小さい方だったけれど、すぐに大きい部屋になってしまったので、みんなは、ブツブツ言っていました。

山本ふくちゅうのあいずで、みんなそろって外に出ました。そして、ついせきハイクをやりました。山内君が、ころんだので少しおくらせてしまいました「早く、早く、早く。」

と、山内君に言いました。やっと来たので全力で走りました。「きおく」や「わなげ」・「ロープむすび」をやりました。一番むずかしかったのは、「ロープむすび」でした。でも最後の「はりえ」は、なかなか楽しかったです。だいは、『夜の動物園』にしました。みんなが、

「なかなか、いいじゃん。」

「けっさくだなあ。」

と、言ってくれました。ぼくも、うまくいったと思いました。やっぱり、グループにぼくがいたから、うまくまとまったと思いました。(ぼくのげいじゅつだなあ)と思いました。

次の日は、たくさん歩いてから馬に乗りました。はじめは、こわかったけれど、なれるとよく乗れるようになりました。楽しいしゃえいでした。

方広寺での二日間

カブ隊 加藤 大和 (芳川北小3年)

ぼくは、大本山方広寺で一泊二日の「しゃえい」に参加しました。お寺は、とても大きかったです。

部屋はつごうで大きい方になったので(なぜかなでも広い部屋なのでいいな)と思いました。リュックサックの整とんが終ると、ロープ・えん筆・消しゴム・下じきを持ってゲームをやりました。

記おくゲーム・わなげ・ロープむすび・なげおとし・葉の絵をやりました。一番楽しかったのは、葉の絵だったです。人間を葉で作ったことです。ねる前にえい画を見ました。ねる時となりの部屋の人と遊んだりして少しおそくなりました。

次の日、朝食後おく山へ行きました。坂道ばかりでした。その後、馬に乗りました。とても、楽しい一泊二日の「しゃえい」でした。

* 浜松第18団 * ぼくらのスカウティング

かん国キャンポリー

カブ隊 鈴木 幸太 (浅間小)

ぼくは、はじめて飛行機にのったのでこわかった。だけど、きれいなくも見たらこわくなくなった。むこうについたとき川をわたるといったのですべらないようにわたろうとした。川の水がつめたくてきもちがよかった。むこうの食べものはからいのばっかであんまり食べるものがなかった。だけど、1日だけ日本食がでたのでよかった。ホームステーのとき、家にいくと思ったらデパートへいった。ぼくは、そこで、キーホルダーをかった。ほかのはたかくてかえなかった。そして、そのデパートのちかみみたいなところでおみやげのおかしみたいなものをかった。そして、かえるときにすこし時間があつたのでおみやげにボールペン・シャープ・マンネンヒツのせつとをかったりした。かえりの飛行機ですごくゆれたのでこわかった。浅間神社についたときあつかったけどほっとしてうれしかった。



かん国へ行って

カブ隊 小池 信樹 (浅間小)

ぼくは、かん国へ行って、とてもよかったと思う。ホームステーなどは、最初で最後かもしれない。むこうの食べ物は、からい物ばかりで、あまりすきなものはなかった。でも、むこうの人は、とってもあたたかくむかえてくれたので、とてもうれしかった。ホームステーのとき、ももとか、おでんみたいのとか、日本食を出してくれたりした。

でも、病気にならなかつただけでも、よかったと思う。

チェンジするとき、ほかの友達と、あまりしたしめなかつたので、もし今度いくきかいがあれば、もっとたくさんの友達をつくれるようにしたい。

たのしかったかん国

カブ隊 岩堀 尚徳 (浅間小)

ぼくは、はじめて飛行機にのりました。でかける前の日に、飛行機がおこったので、ぼくはとてもしんばいだった。ぼくはかんこく行きがきまったとき言葉がわからないからこまったなあと思った。でも行って見ると、なんとかつうじた。ホームステーでは、お母さんが少し日本語が話せたのでぼくはうれしかった。ホームステーで、デパートへ、つれて行ってもらった。でも、夜おそかったのでデパートは終っていた。デパートの地下がやっていたので、ソフトクリームをたべた。かん国のソフトクリームは、とてもあまくてりょうが多かった。花火が見えたのでみんなでみた。日本の花火と少しちがってひらくまでじかんがかかった。とてもたのしかったのでもう一度かんこくに行きたいです。

夢

ボーイ隊 長田 哲也 (江西中)

今年の秋、ぼくは菊章をとった。

これをとるまでには、長い時間がかかった。

しかし、ぼくの夢はこれで終りではない。

菊章は夢を実現させるための第一歩なのである。

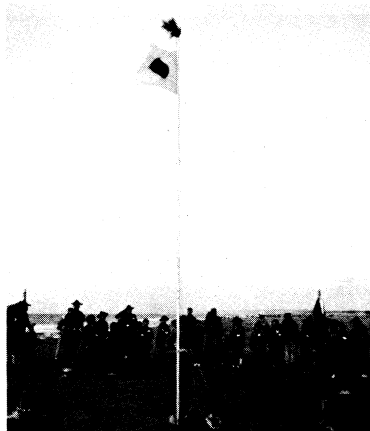
第二步目は、特修章をすでてとり、技能章をBSの間になるべく多くとることだ。

そして三歩目、SSに行きななるべく早く隼をとること。そして四歩目として富士を修得し団や隊の活動に役立つ。最終的には団のリーダーとして活動することである。これがぼくの夢である。

しかし、これだけのことを口で言ってみても現実にはできるわけではない。口先だけで終らないようにするには、誓と掟をできるだけ守り、そして実行し、スカウト活動にすすんで出ることからだと思う。この夢は実現できないかもしれない。だがぼくはあきらめず頑張りたい。



* 浜松第23団 * ぼくらのスカウティング



科学万博へ行って

カブ隊 加藤 寿 弥 (西都台小4年)

ぼくは、ずうっと前からつくばへ行きたいなと思っていた。そして、お母さんから、「科学万博へ行くんだよ」と聞いて、ぼくはとてもうれしかった。そして、7月27日がきて、バスで、つくばへ向った。とちゅうサービスエリアできゅうけいしながら、7時間バスの中でゲームや歌を歌いながらやとついた。一番楽しかったのは、車館だった。4人のりのスペースライドで地上33mまで、外周軌道を上昇して光のトンネルをぬけてスペースシネマゾーンに突入スクリーンが上中下の3かしょ大氷原緑と大草原とさばくのえい画を見ていたら、ほんとうにのってるみたいだった。だけど上りのとき、とてもびっくりしたことは、人のれつがすごかったことと、アイビュム館のてっぺんに人がいたということだった。車からおりたときにすごいかっこいいなと思ったのは、21世紀の車がかったからだった。6このタイヤがあって、6WDだった。その車は、スーパーグランツーリスモという名前だった。やっぱりつくばは、いいところだなと思って、また、いつてみたいなと思った。

クリスマス会の感想

カブ隊 村山 大 介 (西都台小5年)

クリスマス会をやった時、初めにかそうをしてがっしょうをやりました。二組が一番最後だったので、あまりきんちょうはしませんでした。『一週間』のがっしょうはうまくできたけど『あすなろ』の時、つかかってやりなおしをしたのでちょっとはずかしかったです。来年新しく入る人たちが『森のくまさん』を歌った時、ちょっと声がちいさかったけど、

とてもかわいらしかったです。次にお母さん方が歌った時、とてもじょうずだなあと思いました。ケーキやプリンもとてもおいしかったです。ボーイやシニアの人たちがえんそうした時すごうまい。と思いました。プレゼントこうかんではくじをひくのが一番最後だったのであまり物には福がある。と思いました。もらったプレゼントはみかけはあまり大きくなかったけど中にいい物がはいっていたのでうれしかったです。とても楽しいクリスマス会でした。

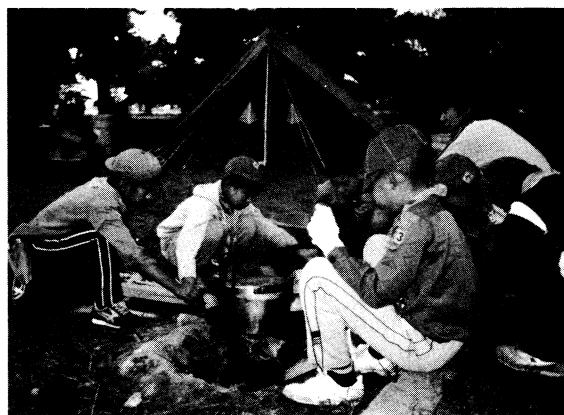
楽しいカブ活動

カブ隊 岡田 達彦 (西都台小4年)

ぼくのこの一年で心に一番のこっていることは、オーバーナイトハイキングです。

一回目は、豊橋市から伊良湖岬です。でも、18番目のチェックポイントぐらいで、足がつって、ダウンしてしまいました。海岸は、砂がくつに入って歩きづらかったです。と中でお母さんたちがスूपを作って待っていてくれました。すわってはいけなと言われたので、立って飲みました。温かくて、おいしかったです。ぼくは、すわりたくてたまりませんでした。夜中の2時ごろから5時半ごろまで車の中にいました。日が上るときは、きれいでした。

二回目は、志部呂ようち園から村くし・和地・大久保を回りました。こんどは、ぜんぶ歩けました。くるしかったけどがんばったからうれしかったです。



*可美第1団*ぼくらのスカウティング

「カブスカウトになって」

カブ隊 佐藤 剛(新津小)

ぼくが、カブスカウトに入隊したときは、どんなことをやるのかわかりませんでした。それにどんな人が入っているのかもわかりませんでした。

カブ隊ではキャンプなど、いろいろな行事をやる事がわかりました。新津小学校の人は、新津小学校の人だけの組にわかれしました。今まで全々知らなかった人たちとも、友だちになれてよかったです。初めてのキャンプでは、はんごうたきを覚えました。組の人たちとたきました。初めは何をやればよいのかわからなかったもので、うろろうしていました。けれど、大きい人たちに教えてもらって、夏のキャンプでは、うまくやれるようになりました。秋のソフト・ボール大会では、はじめてソフト・ボールをやりました。あまり知らなかったもので、遠くになげれなかったし、まっすぐにもなげれませんでした。それで外野になってしまいました。でも、ぼくたちが優勝しました。あまりうまくできなかったけど、優勝したのでとてもうれしかったです。



しかのときも、村内キャンプは、親合神社で行いました。はんごうのごはんがたけると、みんな石やきといって、のこりのすみで石をやいて遊んでいました。3月の春休みには、進級しゃえいで秋葉山へ登りました。すごくつかれました。カブスカウト生活も最終の「くま」になりました。ぼくは、組長になりました。はじめたことは、最後までやりとおす気持ちで、カブスカウト生活の残り一年をしっかりとがんばります。



「ボーイスカウトになって」

ボーイ隊 内山 哲男(新津中)

僕は、スカウトになって、現在にいたるまで、隊でのいくつもの体験をしてきました。中でも、オーバーナイト・ハイク、竜頭山登山、班長訓練野営と苦しい訓練をのりこえて、今日までやってきました。

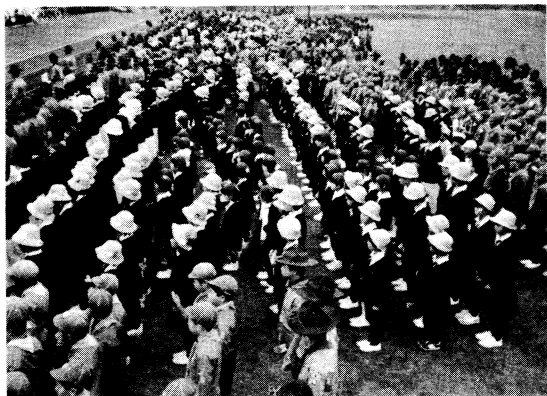
思えば、苦しい時も、うれしく楽しい時もたくさんありました。そして、ある時は、スカウトなんてやめてしまおうと考えた時期もありました。でも、そんな時、僕をかげながら支えてくれたのは、隊長や、団委員の暖かい励ましであつたと思います。だから、僕がスカウトになって一番強く感じたことはハイクや、キャンプ、訓練を通じて体験をした「チームワーク」と「友情」です。チームワークは、やはり班全員が一体となって、何事もやりとげる精神。友情は、誰とでも仲よく、力を合わせてやっていくことです。僕自身、この二つの目標をしっかり守りこれからのスカウト生活、家庭生活に生かして、より自分を磨いていこうと思います。

今、振り返って見て、スカウトになって、家庭や学校では出来ない数多くの体験をさせてもらったことや、勉強をさせてもらったことに、感謝をしています。これからも、頑張っていきたいと思います。

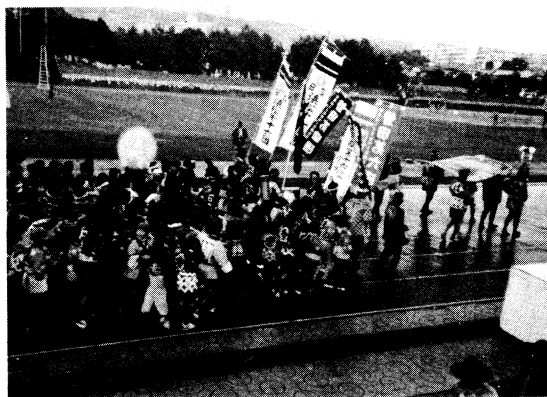


県大会(県営草薙グラウンド)

11月17日(日)



開会式典より



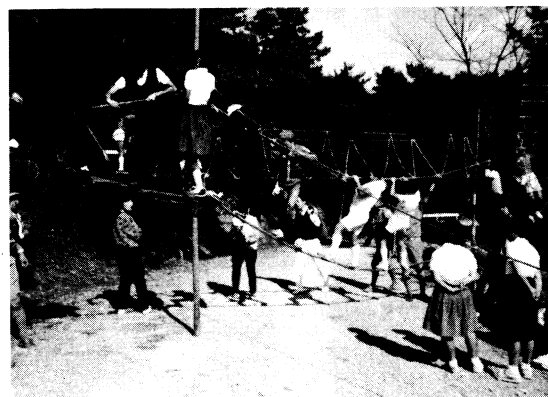
西部地区「ゲキネリ」の様子

子供フェスティバル(佐鳴湖公園)

11月3日(日)



ロデオ



モンキーブリッジ

米津^{ねず}文庫のお知らせ(野口蔵書)

宝の持ち腐れ、と言う言葉があります。

興味のある事や判らない事を書物によって調べている間に、とうとう一部屋が本によって占領されてしまいました。

それでも友知人の中では、冊数においても5本の指に入りません。

内容も種々雑多です。海・山・野外活動・料理・演劇・美術・郷土・地理・歴史・教育・絵本・その他様々です。

又、手元から離れてしまった本もたくさんあります。

このまま埋もれてしまうよりも少しでも必要とする方々のお役に立てれば、と目録を作ってみました。今後は機会があれば十進分類によるカードも、作ってみたいと思っています。

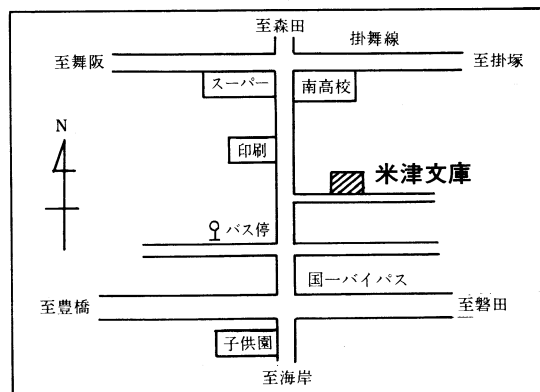
どうかお気軽に御利用下さい。閲覧と云っても、小生の在宅時間がかぎられていますので、貸出しを主にしたいと思います。

手元になくても、判る範囲で蔵書先の紹介も出来ます。

この目録外にも蔵書及びビデオテープ(VHS)があります。

皆様の御利用をお待ちしております。

・住所 浜松市米津町798-1 野口方 TEL41-9170



Mr.ネマニ サブミラミラと過した4日間

第24団 団委員長 原口 芳彦

Mr.Nemani Savumiramira

(Northern field commissior

Fiji Scout Associaton 26才既婚)



総理府の海外研修青年受入れ事業の一環として来日した彼は、山中を振出しに東海、北陸、東北地方をホームステイし最後は那須野営場において研修レポートを取纏める事になっていた。

来日した研修目的は日本の文化、産業、教育等について理解を深める事であった。

静岡県連盟として浜松地区に依頼があったのは主として産業に対する関心からだった。以下日記風に彼と過ごした4日間を振り返って見る事とした。

1985. 9月18日

午後1時過ぎ日連国際課佐藤君の運転するジープで浜松西インターに着いた。

三輪県コミと私と2人で出迎えた。

今日の予定は太田山野営場と竜ヶ岩洞見学である。兎に角文明開化の度合いが大変開いているので仲々話しが噛み合わない。

フィジーではWBコースは研修所が主力でWB実修所は極くまれにしか開かれない様で太田山で実修所が現に毎年開かれている事に驚いていたし、又一面のブッシュの中に電話、コピー、ファックスの常置された事務機には大変感銘していた。竜ヶ岩洞では2億5千年前と云う感覚が仲々掴めなかった様だ。

それとフィジーには鐘乳洞は無い。あるのは風波による浸食で出来た洞穴のみとの事。鐘乳洞の成因を説明するのに大変苦労したが、何の事はない、英文のパンフレットがあって大いに助かった。洞穴の中で私が突然彼の結婚についてたずねたら、こんな所で急にそんな事を聞くなどと言ってムツとしたが2ヶ月前に結婚したばかりだと答えた。彼はコーラしか飲まないのだから竜ヶ岩洞にもコーラの自販機を今後はおいて下さい。三輪県コミ宅に宿泊。

9月19日

今日は宮沢さんの発案で幼稚園と小学校へ行った。特に小学校の理科教室には興味を示した。市役所へ

表敬訪問したが市長不在で鈴木助役にお会いした。彼の着用していた「スル」が(スカート風ボーイユニフォーム)が新聞記者の質問的となった。蜆塚遺跡と博物館へ行った。カヤ葺きの家は大変気に入ったと言う。

日本民族は北方系と南方系とアイヌの混血(違っていたら御免)だと言ったらこの家を見て解ったと言ひ、僕の家もこれと同じだが竹の腰壁がついてもう少し通風がよいと訳してくれた。博物館では猪狩りの昔の模型があった。

僕もフィジーのハンテング倶楽部のメンバーだと言うのでガンを使うのかと聞いたらNO、今でも槍だけだと言ひ、フィジーは国中が野営場で国民は生れながらのスカウターであり、スカウトとキャンプに行く時には何も持って行かず、すべて現地のもで間に合わせると言った。これには一本参った。その夜は「弥栄」で地区有志のパーティがあり同所でザコ寝した。

9月20日

今日は愈々メインプログラムだ。私と三輪氏と彼と3人で出発。今日の予定はヤマハ発動機、日本楽器、鈴木自動車湖西工場の見学である。何処も通訳なしなので判ったかどうかは知らないが、とに角しゃべりまくった。

「ヤマハ発動機での彼の言い分」

フィジーには部品が無いから故障すれば山へ捨てて、又新しいバイクを買っている。こんなに部品が有るのに何故フィジーへは売らないのか？

ヤマハの担当者困ってしまつて絶句。

僕が「フィジーのディーラーは部品を売るより新車を売った方が儲かるからナ」と言ったら彼ニヤリ。帰りの車の中で僕と組んで部品の貿易をやるかと言ったら、彼いわくグッドアイデア。「日本楽器ピアノ製造ラインを見て」

日本の小学校には必ずピアノがあると僕が言ったら、フィジーにはオルガンも無い学校がある。日本人はこんな高い物をよく買うナア。

「鈴木自動車湖西工場にて」

途中弁天島で休息した。今切口で「オイ、フィジーが見えたゾ」とからかったら、彼いわく、ここはフィジーの気候とソックリでベリーグッド。湖西工場では四輪の生産ラインを見学した。最大級に驚ろいていた。彼いわく「この資源は何処から買うのか?」「世界中からだ」と答えると、日本人は頭がいいと言ったが何やら一寸対日批判をチョッピリ聞かされた様で心寒い思いをした。紙面が無いのでこの辺で。

9月21日

岐阜へ向って出発。

SENIOR DOOR



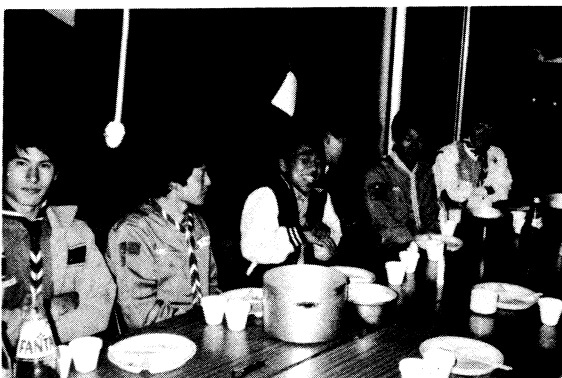
浜松第11団シニア隊結成 15周年を迎えて

浜松第11団SS隊隊長 古橋 照久

遠鉄にボーイスカウトの団ができて、22年になります。最初ボーイスカウト隊が2隊で発足した、11団も現在では、カブ隊、ボーイ隊、シニア隊及びローバー班があり、ほぼ完全な団として歩き初めております。

この団の中の一つの隊である、シニア隊が、今年15年目を迎えた事を、団の歴史を書いて気がつきましたので、年度始めに隊集会で話した所、今年はずいぶんシニア隊の15周年記念をやりようと言う事に決定され、企画委員会を設置し、8月のアドベンチャーキャンプ終了後検討を始め隊で15周年記念キャンプを行う事で話がまとまり60年11月2日から11月4日まで、太田川キャンプ場に於いて、野営を行いました。1日目は食事と設営をし2日目は個人プロジェクトに基づき、乗場をする者、アーチェリーをするもの又塾に行く等一人一人が充実した1日をすごした。18時から、団委員長及び歴代の隊長に記念品と感謝状を送り感謝の気持を表わし団委員長外の皆様方から激励の言葉を頂き隊員達も一層のファイトが出てきたようで非常に有意義な式典ができたと思います。

式典ののち全員で夕食会とゲームを行い楽しいひとときを過ごし、3日目は朝から徹営と太田山清掃を行い、西ヶ崎へ荷物をとはこび込み、片づけを終え13時頃解散記念キャンプを終了しました。このキャンプを高校1年生と2年が企画、立案、実施をした所に意義があると思います。私も3日間に参加し子供達のバイタリティに感動致しました。この年代の子供達は無限の力を内に秘めています。この力を最大限に発揮させて行くのが私達リーダーに課せられた義務ではないでしょうか？



15周年記念式典に参加して

11団シニア隊 青葉 陽亮

夏休み前から今年の秋にはこういうところやろうと計画されていたが、めったにないことなのでどんなことをやるのか全然わからなかった。10月に入って大体内容が決まり、この記念式典が行われた。

初めのうちは「11団のシニア隊は15年前にできたんだなあ。」ぐらいに思っていたのだが「この15年の間には多くの人達の努力があったからこそ今こうしてシニア隊があるんだ。だから、この記念式典を行うんだ。」と考えがかなり発展してきた。15年前多大な努力でこのシニア隊をつくりあげてくださった、土井庸一隊長をはじめ、その後シニアを支えてきてくださった数人の隊長にシニア隊全員の感謝をこめた感謝状を贈った。本当は今までの隊長全員と11団でシニア隊の一員として活動していた先輩も招待したかった。

僕は、この日テストがあったので11/3の夜だけ参加した。内容は、記念式典、夕食会、ゲームだった。式典が終った後の夕食会では隊長達が楽しい話をしてくださって大変盛り上がった。その後のゲームは、倉橋先輩がアメリカで覚えてきたという、「Cross and Uncross」を行った。

あの楽しさは、やった人にしかわからないと思う。棒が二本あればできる簡単なゲームだったのでまてこういう機会には行くとおもしろいと思う。15周年記念式典を行い15年間の重さを知ることができて、とても有意義なものだったと思う。

シニア隊15周年について

11団シニア隊 青葉 洋

シニア隊ができて15年もたった。シニア隊の先輩達にいろいろ話を聞くと、キャンプをやる時は今のキャンプ場みたいに設備はよくなく、水をくむにもすぐ近くにはないところもあったらしい。今はこんなよい設備のキャンプなんだから自分なりに積極的に活動していきたいと思った。そして僕達も先輩達についてシニア隊としての自覚を持ちそれなりにがんばろうと思った。そしてシニア隊創立15周年の伝統を守っていかないといけないと思った。

地区のうごき

- 10月10日(木) ウッドバッジ研修所CS静岡34期太田山
13日(日) 〃 市音楽祭奉仕(陸上競技場)
16日(木) BS楽器研修会(法林寺)
17日(木) 訓練チーム会議(法林寺)
18日(金) BSリーダー会(曳馬公民館)
19日(土) 28th J.O.T.A(青少年の家)
20日(日) 〃
21日(月) SS室内集会委員会(法林寺)
22日(火) 地区面接(法林寺)
23日(水) 地区委員会(法林寺)
24日(木) SSリーダー会(青年婦人会館)
27日(日) BS球技大会(自衛隊南基地グランド)
11月3日(日) 子供フェスティバル(佐鳴湖公園)
5日(火) コミ会議(法林寺)
10日(日) 151期指導者講習会(南部公民館)
12日(火) SS室内集会委員会(法林寺)
13日(木) CSリーダー会(南部公民館)
14日(木) 内田・三輪両先輩大臣表彰受賞
祝賀パーティ(ホテル コンコルド浜松)
15日(金) BSリーダー会(曳馬公民館)
19日(火) 地区面接(法林寺)
20日(水) 財政委員会(法林寺)
〃 組織拡張委員会(法林寺)
〃 BS楽器研修会(法林寺)
23日(土) SSリーダー特別研修会(南アルプス)
24日(日) 〃
27日(水) 地区委員会(法林寺)
28日(木) SSリーダー会(青年婦人会館)
12月3日(火) コミ会議(法林寺)
8日(日) トリック研修会(南部公民館)
10日(火) 組織拡張委員会(法林寺)
11日(水) CSリーダー会(南部公民館)
15日(日) SS技能(天文)章学習会(浜松天文台)
18日(水) BS楽器研修会(法林寺)
19日(木) SSリーダー会(青年婦人会館)
20日(金) BSリーダー会(曳馬公民館)
24日(火) 地区面接(法林寺)
25日(水) 地区委員会(法林寺)
29日(日) 訓練チーム会議(法林寺)
1月1日(木) 新年遙拝式(中田島海岸)
8日(水) CSリーダー会(南部公民館)
9日(木) コミ会議(弥栄)
登録事務説明会

「これからの予定」 2/1~3/31

- 2月2日(日) 進歩・面接研修会 (福祉文化会館)
4日(火) コミ会議 (法林寺)
9日(日) WB実修所第1教程勉強会 (曳馬公民館)
12日(水) CSリーダー会 (南部公民館)
18日(火) 進歩委員会 (法林寺)
19日(水) BS楽器研修会 (法林寺)
20日(水) SSリーダー会 (青年婦人会館)
21日(金) BSリーダー会 (南部公民館)
26日(水) 地区委員会 (法林寺)
- 3月2日(日) 登録事務受付 (南部公民館)
4日(水) コミ会議 (法林寺)
12日(水) CSリーダー会 (南部公民館)
14日(金) BSリーダー会 (曳馬公民館)
15日(土) 救急法講習会 (青少年の家)
16日(日) 〃
19日(水) BS楽器研修会 (法林寺)
21日(金) 班長訓練野営 (各小地区毎)
24日(月) 〃
26日(水) 地区委員会 (法林寺)
27日(木) SSリーダー会 (青年婦人会館)

🌸♥♥♥♥♥♥ ご結婚おめでとう ♥♥♥♥♥♥

細江1団CS副長 { 小桐竹次郎
豊田 秀子

 3月にめでたくご結婚なさいました

計報

鈴木 賢 7月27日 浜松団10団団委員

八木本忠夫 10月20日

浜松19団BS副長 地区ヨットクラブA.S.M

村上 虎吉 11月10日

細江 1 団団委員長

組織拡張副委員長（西小地区）

— あとがき —

本号から、印刷を三富印刷(株)にお願いする事になりました。

昭和37年7月の創刊号から、60年10月の101号迄の
23年余に亘りお世話になりました(株)朝日堂印刷所殿
に深甚の謝意を表します。

發 行 所

発 行 所 第102号
日本ボーイスカウト浜松地区事務所
〒430 浜松市海老塚2-9-16

編集発行責任者 石 津 宏

印刷所 (株)三富印刷

昭和61年1月25日 発行

昭和61年1月25日 発行